



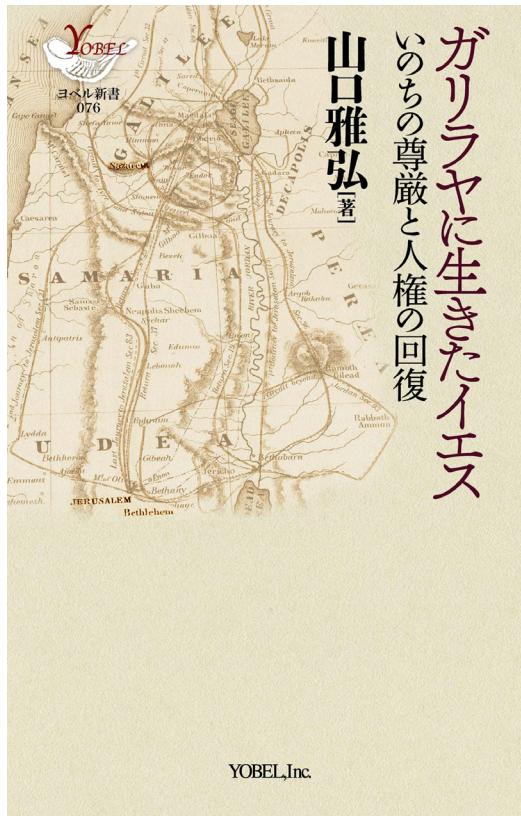
山口雅弘 [著] (日本キリスト教団 引退牧師)

35th
Anniversary
Yobel, Inc.
since 1987

ガリラヤに生きたイエス

いのちの尊厳と人権の回復

3月中旬刊行予定



“ガリラヤ”を抜きにしては
イエスもキリスト教もない！



ヨベル新書 076

イエスが生まれ育ち、民と共に暮らし、「神の国運動」の場となった「ガリラヤ」、その地に焦点を当てて聖書を捉え直す渾身の「キリスト教解体新書」。〈歴史のイエス〉と〈信仰のキリスト〉との間にある乖離を明示してキリスト教最大の問題を乗り越え、イエスの生き方の核心を示す「いのちの尊厳と人権の回復」に肉薄する。

イエスの眼差しは、社会的・政治的・宗教的な権力支配の構造悪によって棄民化され、難民化される人々に向けられました。そしてガリラヤの人々の願いや抵抗の生き方は、神を信頼し自立的に生きる者の「弱者の武器」を用いる「非暴力」によるものでした。人々はイエスの福音を受け継ぎ、何事も「あきらめず」に希望を持って生きるように促されたのではないでしょうか。(本文より)

まえがき

序 章 イエスの生き方の核心は？

イエスの生と死／心身の「癒し」と「全人間的な解放」
／志ん生の本音とパウロの呻き、そしてイエス、他

第一章 「イエス」探求の前提

イエスの「神話化」を問う／「イエス・キリスト」と
いう呼称／いのちの尊厳と人権を奪う宗教のシス
テム化／キリスト教の「変遷」を問う課題、他

第二章 「ガリラヤ」という歴史的な場

イエスと「ガリラヤ」／ガリラヤの特異性／北イス

ラエルの伝統／「異邦人のガリラヤ」と言われる理由 に罪を犯さず

／ガリラヤの社会と支配構造

第五章 晒し柱 —— 犠牲のシステム

晒し柱の処刑について／十字架の「贖罪」／強者の論
農民・木工職人イエス／日常の風景／中庭を中心に
した共同体／「女」と「男」の間には／農民の苦しみ

第六章 宗教のジレンマとその克服

イエスの「誕生と死」、そして「復活物語」／「復活信
仰」と女性たち／宗教のジレンマとその克服、他

第三章 ガリラヤ農民イエス

農民・木工職人イエス／日常の風景／中庭を中心

に理と犠牲のシステム／晒し柱による死についての再考

した共同体／「女」と「男」の間には／農民の苦しみ

第四章 旅に出るイエス —— 怒りと希望

放浪の旅立ち？／イエスの怒り／ヒューマニズムの

徹底化／イエスが示す「神の国」／共食と共生の実現

主な参考文献表／あとがき

を求めて／パンの分かち合い／一切れのパンのため

著者略歴：山口雅弘（やまぐち・まさひろ） 1948年札幌に生まれる。日本聖書神学校卒業。以後、日本キリスト教団諸教会の牧師を歴任。アメリカ・ケンブリッジ Episcopal Divinity School に留学（神学修士号取得）。単位互換制度によりハーバード大学神学校で学び、米国長派研修施設（ニューヨーク）常駐神学教師、並びに諸教会の協力牧師。日本聖書神学校講師（新約学）。現在、日本キリスト教団引退牧師。**著書：**『イエス誕生の夜明け：ガリラヤの歴史と人々』、『よくわかる新約聖書の世界と歴史』（以上日本キリスト教団出版局）、『イエスの道につながって：教会暦による隨想とメッセージ』（新教出版社）。**編・著書：**『聖餐の豊かさを求めて』（新教出版社）。**翻訳書：**M. ヘンゲル著『イエスは革命家であったか』（共訳、新教出版社）、L. ウィリアムソン著『現代聖書注解—マルコによる福音書』、P. パーキンス著『現代聖書注解—ペトロの手紙1・2、ヤコブの手紙、ユダの手紙』（以上日本キリスト教団出版局）、M. ディベリウス著、H. コンツェルマン改訂増補『牧会書簡注解—第1・第2 テモテ書、テトス書』（教文館）。

新書判・336頁・1,650円（税込）
1,500円+税 ISBN978-4-909871-63-3 C0216

ヨベル YOBEL Inc. 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1 T 03-3818-4851 F 03-3818-4858 <http://www.yobel.co.jp>